



木構振発 5-65  
住木技発 5-402  
令和 5 年 7 月 28 日

都道府県  
林務担当部局木材担当課長 殿  
住宅担当部局担当課長 殿  
木材・木造住宅関係試験研究機関 御中

木構造振興株式会社  
代表取締役 山田 壽夫 

公益財団法人日本住宅・木材技術センター  
理事長 古久保 英嗣 

### 中大木造建築普及加速化プロジェクト事業の募集について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、木構造振興と日本住宅・木材技術センターでは中大木造建築普及加速化プロジェクト事業を募集することとなりました。

この事業は、木質材料（製材、集成材、LVL、CLT 等）を用いた構法及びそれを実装するための部材供給等の枠組みに関する提案を募集します。

募集は、「検討支援枠」と「一般枠」の 2 つの部門に分けて行い、技術等の検討に対する支援を活用するものを「検討支援枠」、これ以外のものを「一般枠」として募集します。

募集概要は別添のとおりですので、貴団体の会員等をはじめ幅広くご案内いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。

敬具

<公募事業担当>

(公財) 日本住宅・木材技術センター  
研究技術部 (伊巻、渡部、石部)

TEL 03-5653-7581

FAX 03-5653-7582

H P <http://www.howtec.or.jp/>



## 中大木造建築普及加速化プロジェクト事業の募集について

～コストや施工性の点で競争力が高く、広く展開できる構法等の提案を募集します～

(公財) 日本住宅・木材技術センター  
木構造振興(株)

(公財) 日本住宅・木材技術センターと木構造振興(株)では、国土交通省・林野庁の連携のもと、「中大木造建築普及加速化プロジェクト事業」について、下記のとおり募集を開始することとしましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 募集概要

##### (1) 事業の目的

カーボンニュートラル社会の実現、循環型地域社会の構築に向け、民間建築物を含めた建築物のさらなる木造化のため「都市(まち)の木造化推進法」の施行等様々な施策が講じられています。

しかしながら、3階を超える規模の中層建築物等については、依然として木造化率が低い水準で推移しており、コスト、施工性等の点で高い競争力を有し、地域の設計者、施工者(建設会社、工務店等)の間で広く展開できる構法及びそれを実現するための部材供給等の枠組みを整備していくことが必要です。

こうした状況の中、本事業は、国土交通省・林野庁の連携のもと、4階建ての事務所及び共同住宅をモデルに、コスト、施工性等の点で高い競争力を有する構法及びそれを実装するための部材供給等の枠組みについて、検討段階のものも含めて広く公募し、寄せられた提案について、地域の設計者、施工者の間で広く展開を目指す観点からの評価を行い、今後中層木造建築物に取り組むことが期待される関係者と広く共有を行います。

また、検討段階の構法等の提案については、本事業の趣旨に沿ったものが実装されることを目指し、実装に向けた課題に係る関係者との意見交換の場の提供等を行います。

##### (2) 募集する提案

木質材料(製材、集成材、LVL、CLT等)を用いた構法及びそれを実装するための部材供給等の枠組みに関する提案を募集します。

募集は、「検討支援枠」と「一般枠」の2つの部門に分けて行い、技術等の検討に対する支援を活用するものを「検討支援枠」、これ以外のものを「一般枠」として募集します。

##### (3) 募集の対象とする事業者

本募集への応募者は、原則として、本募集に応募した提案の構法を実施している者又は実施する予定の者となります。

## 2. 募集期間等

募集する部門に応じて、次の募集期間等により提案を募集します。

### ① 検討支援枠

募集期間：2023年7月28日（金）～2023年9月15日（金）13時

提出書類は2023年9月15日（金）13時までに必着とします。

### ② 一般枠

募集期間：2023年7月28日（金）～2023年12月15日（金）13時

提出書類は2023年12月15日（金）13時までに必着とします。

## 3. 提案事業の選定

外部の有識者からなる有識者会議において審査し、選定します。「検討支援枠」の選定は5件を上限とします。

## 4. 「検討支援枠」に選定された提案への支援

「検討支援枠」で選定された提案については、有識者等からの助言のほか、検討費用の助成（1件当たり350万円が上限）を行います。

## 5. 成果の公表

選定された提案内容については、検討支援の成果も含め取りまとめ、公表致します。

## 6. お問い合わせ先

本募集の内容や応募に関してご不明な点等ございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。なお、質問・相談につきましては、原則としてE-mailにてお願い致します。

(公財)日本住宅・木材技術センター研究技術部（担当：伊巻、渡部、石部）

電話：03-5653-7581 / e-mail：gijutsu@howtec.or.jp

よくある質問（中大木造普及加速化プロジェクト Q&A）

## 7. 応募書類の提出先、提出方法

応募書類は以下の提出先まで提出して下さい。


〒136-0075 東京都江東区新砂 3-4-2


(公財)日本住宅・木材技術センター 研究技術部

e-mail：gijutsu@howtec.or.jp

木構振発 5 - 3  
住木技発 5 - 405  
令和 5 年 8 月 2 日

都道府県林務担当部局 木材担当課長 殿  
都道府県住宅担当部局 木造住宅担当課長 殿  
木材・住宅関係試験研究機関 御中  
木材・住宅関係中央団体 御中

木構造振興株式会社  
代表取締役 山田 壽夫 

公益財団法人日本住宅・木材技術センター  
理事長 古久保 英嗣 

#### 令和 5 年度 都市木造建築技術実証事業の募集結果について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記事業の募集の際には、御多忙中にもかかわらずご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 5 月 29 日～6 月 26 日において実施したところ 4 件の応募があり、検討委員会による審査を経て、別紙の 2 件の提案を採択することといたしましたのでご報告いたします。

この事業は、非住宅・中高層分野の建築物における木造化・木質化、ツーバイフォー工法や木質パネル工法等の普及、建築物の省エネ性能の向上に伴う重量化等への対応やリフォーム等による長寿命化に向けて、建築物における実証を通じて、高い普及性が見込まれる新たな技術等の開発や再検証・改善を行うものです。

敬具

< 担 当 >

(公財) 日本住宅・木材技術センター  
研究技術部 板橋、清水、石部  
TEL 03-5653-7581  
FAX 03-5653-7582  
HP <http://www.howtec.or.jp/>



令和5年8月2日

令和5年度 都市木造建築技術実証事業の募集結果について

木構造振興（株）  
（公財）日本住宅・木材技術センター

木構造振興（株）と（公財）日本住宅・木材技術センターでは、林野庁補助事業「都市木造建築技術実証事業」を募集しておりましたが、令和5年5月29日～6月26日において実施したところ4件の応募があり、検討委員会による審査を経て、別紙の2件の提案を採択することといたしましたのでご報告いたします。

この事業は、非住宅・中高層分野の建築物における木造化・木質化、ツーバイフォー工法や木質パネル工法等の普及、建築物の省エネ性能の向上に伴う重量化等への対応やリフォーム等による長寿命化に向けて、建築物における実証を通じて、高い普及性が見込まれる新たな技術等の開発や再検証・改善を行うものです。

<お問い合わせ先>

（公財）日本住宅・木材技術センター  
研究技術部 板橋、清水、石部

TEL 03-5653-7581

FAX 03-5653-7582

H P <http://www.howtec.or.jp/>

番号 (補助 成果 ID)	応募者名 (建築主等)	応募事業名	実証の種類	建築用木材 の主な使用 方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかわる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	ポラテック株式 会社 代表取締役 内 眞次郎	一般流通材を活 用した大規模木 造物流倉庫のモ デルプラン	(1)非住宅・中高 層分野の建築物 における木造 化・木質化に向 けた取組におけ る 【建築実証】	構造体	スパンが5~6m程度の倉庫であれば木造で建てるケースは多いが、10mを超えるような大スパンの物流倉庫になると鉄骨造が多 く、木造で建てるケースはまだ少ない。そこで、本事業で は本来であれば鉄骨造で建てるであろうスパンの物流倉庫を、一 般流通材を活用し、かつ住宅用プレカスト加工機で加工できる範 囲で構造計画を行い、汎用性・普及性の高いモデルプランを構築 実証する。	鉄骨造での類似の用途・規模の建築物の施工実績が豊富であ り、本事業で実証する建築用木材を用いた建築物と鉄骨造で建築 した場合同様に、給コスト、工期、人工等を比較するとともに、本 事業における材料調達、施工工程・手法等の課題を分析すること が可能である。また、鉄骨造と遜色のない価格の実現のために、 一般流通材を用い、かつ住宅用プレカスト加工機を活用した大ス パンを実現することで解決が可能と考えられている。	茨城県坂 東市	用途:倉庫 構造:木造 階数:1階建て 延べ面積:2740.32㎡ (456.72㎡/棟×6棟) 工事種別:新築 竣工予定:令和8年3月	ポラテック株式会社 非 住宅推進部 非住宅推 進二課 高橋 秀樹
2	藤井産業株式 会社 代表取締役 村 薫一	純木耐火構成材 を活用した12階 スビル実証に向 けた技術開発、 改善実証	(1)非住宅・中高 層分野の建築物 における木造 化・木質化に向 けた取組におけ る 【技術実証】	構造体	現在、12階建て木造オフィスビルが計画されており、申請者が 大臣認定を取得している耐火構成材を使用することが検討されて いる。当該部材は2時間耐火構造の梁、柱の認定は取得されて いるものの、認定されている梁の断面寸法は、必要とされる断面に大 きく足りない状況にある。また、柱・梁接合部に關しては、別途耐 火性能を示す必要がある。これより断面の拡大を図った梁、およ び接合部に關して2時間耐火性能を実証する。	当該オフィスビルを計画している日建設計では、他工法での類似 のオフィスビルの設計実績が豊富であり、本事業で実証する耐火 構成材を用いたオフィスビルと他構造で設計した場合について、 構造特性、コスト、環境負荷等を評価することが可能である。また 将来的に建築物の建設がなれば、材料調達、部材供給、施工 工程、工期、人工等を分析して比較検討することが可能である。	東京都23 区内	用途:事務所ビル 構造:木造及び鉄骨造 階数:12階建て 延べ面積:14,138㎡ 工事種別:新築 竣工予定:令和8年3月 未	藤井産業株式会社営業 部 遊邊 宏